

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 説明会

令和6年度採択都市 事例発表（6月）

島根県隠岐の島町 都市計画課



PLATEAU
by MLIT

I. プロジェクト全体像

隠岐の島町におけるPLATEAUプロジェクトの位置づけ

● 西郷港周辺まちづくりの理念

海とまちをつなぎ 世代をつなぐまちづくり
にぎわい と 安全・安心の実現

● 方針 『ターミナルエリア整備』を核として、『みち』・『かわ』・『台地』 がつながることで 西郷港周辺の4つの地域全体の活性化を目指す





PLATEAU
by MLIT

I. プロジェクト全体像

隠岐の島町におけるPLATEAUプロジェクトの位置づけ

● 西郷港周辺地区整備のデザイン



I. プロジェクト全体像

隠岐の島町におけるPLATEAUプロジェクトの位置づけ

- 海とまちがつながり、世代がつながるまちの実現に向けて取り組む3つのプログラム

うみとまちをつなぐプログラム

西郷港周辺整備

- P1 うみまち通り整備
大社分院通り整備
- P2 交通・交流・商業施設の再編
住宅整備
- P3 まちの景観のルール化
- P4 台地の活用
川の活用

まちの運営プログラム

公民連携
エリアマネジメント

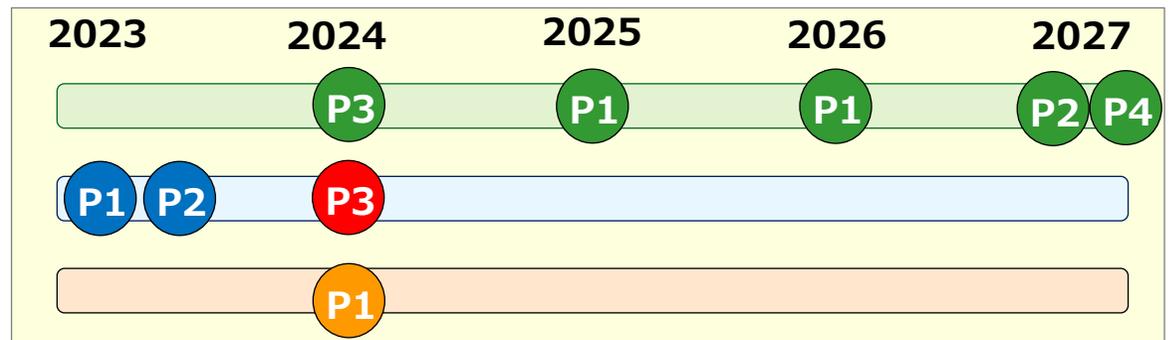
- P1 まちづくり会社の設立

世代をつなぐプログラム

デジタルまちづくり

- P1 まちづくりをデジタルで学ぶ
- P2 まちの再生を仮想空間に実現
- P3 PLATEAU
(3D都市モデルの活用)

【1期プロジェクトスケジュール】



I. プロジェクト全体像

実施事業・事業規模・実施主体

R6年度実施事業		規模(配分ベース)【千円】		実施主体
		事業費	国負担分	
(1)	3D都市モデル整備	7,400	7,400	朝日航洋株式会社 (ユーカリヤからの再委託)
(2)	ユースケース開発	2,200	2,200	株式会社ユーカリヤ
(3)	3D都市モデルの整備・活用・OD化を 推進するための事業	400	400	株式会社ユーカリヤ



PLATEAU
by MLIT

Ⅱ. 3D都市モデルの整備

整備する3D都市モデルの概要

整備対象地物

地物名		整備状況	範囲
建築物	LOD1	R6年度新規整備	隠岐の島町都市計画区域 (30km ²)
	LOD2	R6年度新規整備	ランドマーク10棟
道路	LOD1	R6年度新規整備	隠岐の島町都市計画区域 (30km ²)
都市計画決定情報	LOD1	R6年度新規整備	隠岐の島町都市計画区域 (30km ²)
土地利用	LOD1	R6年度新規整備	隠岐の島町都市計画区域 (30km ²)
災害リスク	LOD1	R6年度新規整備	隠岐の島町全域 (243km ²)
地形	LOD1	R6年度新規整備	隠岐の島町全域 (243km ²)

整備エリア図





Ⅲ. 3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース開発の概要

テーマ	防災・防犯、住民参加
ユースケース名称	防災教育事業 デジタル教育事業
目的	「安心安全なまちづくり」および「世代をつなぐデジタルなまちづくり」の推進
概要	3D都市モデルを活用し、災害リスクをわかりやすく可視化することで災害時ごとの安全な避難経路等の検討に活用する。 町民が災害時の対応をはじめとする安心安全なまちの実現のために必要な情報の選択や、自らデジタルツールを使い活用できるようにするためのスキルを身に着ける。
実施体制・役割分担	隠岐の島町 [ワークショップ主催] 株式会社ユーカリヤ[ワークショップ運営]



PLATEAU
by MLIT

Ⅲ. 3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース活用イメージ



台地への避難路にもなっている通学路(坂)の名称を小学生が提案し決定。
(R1年、まちづくり事業にて実施)

命名した通学路を実際に歩き、確認した情報をリアースでデジタルマップ化するワークショップを開催。
(R6年、本事業にて実施予定)



PLATEAU
by MLIT

Ⅲ. 3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース活用イメージ



- ・3D都市モデルに浸水想定データを重畳し可視化する。
- ・ワークショップにて作成したデジタルマップを3D都市モデルと重ね合わせ、リアースでデジタル防災マップを作成する。
(R6年、本事業にて実施予定)

デジタル防災マップを用いた防災教育をワークショップ形式で実施する。(災害状況に応じた避難経路の検討等)
(R6年、本事業にて実施予定)

「デジタル教育」と「防災教育」をPLATEAUで実現

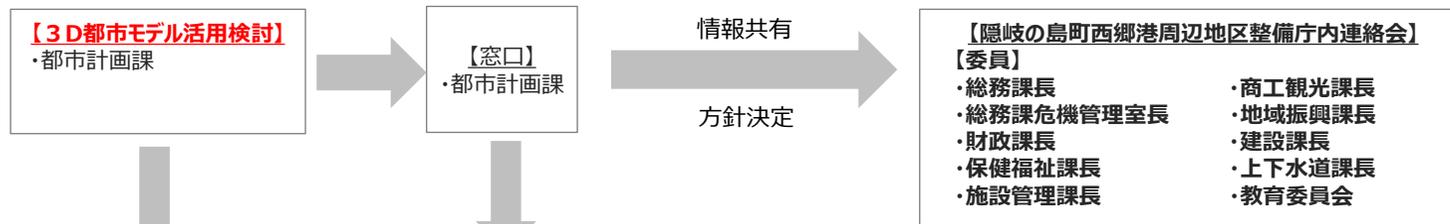


PLATEAU
by MLIT

IV. R6年度事業化に向けた検討・調整経過について



隠岐の島町の動向



<事業の具体化に向けた検討過程>

- 国主催のマッチング支援イベントに参加したことで町のニーズに対応したシーズを持つ事業者から提案を受けることができた。
- 3D都市モデルの整備・活用のアイデアをもとに、事業者と事業化に向けた業務内容を具体的に詰めたことで、より事業目的・費用が明確になり、庁内連絡会各委員に対しても費用対効果等を明確に説明することができた。

